

## シイタケのホダ木作りに参加して

平成22年3月7日、天気予報ではなんと雪のマーク。しっかり防寒対策をして参加することになりました。

子供会の親子数組も加わり、事前に用意されていた間伐材にドリルで穴をあける人、菌をつめる人に別れ、作業開始。

子供会の女の子たちも恐る恐る慣れぬ手つきで菌を穴に差し込み、トントンと木槌で叩きながら椎茸のホダ木作りにチャレンジ。作業は二時間あまりで終了しました。

来年、おいしい椎茸が出てくるまでワクワクしながら成長を見守っていきたいと思います。私もはじめての体験でしたが、子供会の親子とのふれあいもでき、寒さを忘れて楽しいひとときを過ごすことができました。

これからも将監沼はわたしたち住民の大切な里山として、日頃から整備清掃に協力して参ります。(武田カツ子)



木槌でトントン



親子で楽しくチャレンジ



桜と将監沼

## 大きなシイタケに歓声！

5月7日、将監西小学校にお邪魔させていただきました。昨年、子供たちが間伐材にシイタケ菌を植え付けたホダ木に見事なシイタケが実りました。

子供たちは、そのシイタケの大きさに目を見はり、実物に触れてみてビックリ。大きな歓声が沸き上がりました。

「将監沼の自然」とふれあいを育む会の事や、地域の皆さんが協力し荒れ放題だった将監風致公園の手入れをして下さっている事。さらに、将監の歴史について石黒さんと石川さんがわかりやすくお話して下さいました。(S・T記)

## 懐かしい将監沼

「将監沼の自然」とふれあいを育む会が発足して何年くらいになったのでしょうか？ 残念ながら記憶にありませんが、毎年沼の整備をやっていて、みるみるうちにあの竹藪、雑草があっという間になくなりました。歩道から沼が見えるようになり、本当に美しい公園、散歩コースになり、私も大変うれしくなりました。

ただ残念なことに、私自身が将監を離れてしまいましたが、それでもずっと育む会の会員でいるつもりです。これからも育む会を存続させていくのには、もっと若い方々に参加していただいて、ずっと継続していただきたいと思っています。(上野勝美)